

回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会においては、八重山高校カラーガード部が「金賞」と部門別最優秀賞を獲得し、初の日本一に輝いています。



八重山高校カラーガード部

また、令和4年10月に開催された第90回全日本自転車競技選手権大会ロード・レースでは、新城幸也選手が優勝、新城雄大選手が2位に入り、本市出身ロードレーサーが国内最高峰のレースでワン・ツーフイニッシュを飾る快挙を達成いたしました。また、西武ライオンズの平良海馬投手は、昨シーズン「最優秀中継ぎ投手」のタイトルを獲得するなど、多くの市民に

夢と希望を与えてくれました。令和5年度も様々な分野で児童生徒や本市出身者の活躍を期待しております。

そして本市では、令和4年4月に行政サービスのデジタル化、スマート化等を推進するため、DX課を新設いたしました。これまでにLINEサイバー窓口を軸にした、オンラインによる不法投棄や道路破損及び街路灯の不具合の通報、また一部公共施設の予約のオンライン化を実現しております。

令和4年度のふるさと納税につきましては、1月末時点で約13億8300万円の寄附が集まり、過去最高額となっております。企業版ふるさと納税につきましても、令和5年1月末時点で約6億2900万円の寄附が集まり、個人版・企業版を合わせると、20億円を越える額となっております。令和5年度も引き続き、さらなるPRの実施や返礼品の開発等、寄附額の増額に向けた取組を強化してまいります。

令和5年3月は、南ぬ島石垣空港が開港して10年の節目になります。本市のリーディング産業である観光業をはじめとする地域経済の復活と市民の医療や福祉、教育や子育て支援と離島が抱える課題の解消に向け更に取り組んでまいります。

## 1. 地域の魅力と活気があふれるまち

円安や原油高等による物価高騰の影響は、本市の農業分野にも及んでおり、とりわけ、化学肥料においてはこれまでに例のない上昇をみせております。コロナ禍による消費低迷も重なり、農業経営を圧迫していることから、令和4年度は新型コロナ臨時交付金を活用し、さとうきびや葉タバコ、かぼちや農家へ堆肥の無料配布を実施し、負担軽減を図ってきました。令和5年度は、令和4年度に導入した散布機を活用して、地元の有機資源である家畜ふん尿堆肥の利用を促進してまいります。

さとうきびの振興につきましては、コロナ禍で見合わせていた新製糖工場建設推進協議会を令和4年12月に、また沖縄県分蜜糖工場安定操業対策検討会議石垣島部会が令和5年1月から再開しております。新工場の建設に向けた議論と併せて、生産性向上に向けた取組を引き続き行っております。

アプターコロナにおける本市の農林水産業と商工業のブランド力の発信や流通支援策として、地産地消の推進とともに国内外への販路開拓に取り組んでまいります。令和5年度は、八重山食肉センターでと畜された牛肉等を新石垣空港から直接海外へ輸出するための保税蔵置場を空港に再設置し、牛肉と併せて特産品の海外販路開拓の基盤の確保と活性化に取り組んでまいります。また、製造業の事業継続や農林水産業との連携を促進するため、食品製造関連の工業団地の整備について、調査・検討に着手してまいります。

空港アクセス道路の整備と併せてかねてより要望があった「道の駅」の整備につきましても、これまでに白保地域の方々や関係機関との意見交換を進めてまいりました。令和5年度は、引き続き地域との意見交換を行いながら、官民連携によるPFI（民間資金等活用事業）やPPP（官民連携）などの導入の可能性など、具体的な整備手法の検討を進めてまいります。

収穫前のさとうきびやパインアップル等農作物のイノシシなどによる被害対策の一つとして、狩猟者からなる石垣市鳥獣被害対策実施隊による鳥獣駆除を実施しております。課題となっていた狩猟者の育成と技能向上を目的とした狩猟者研修センターの設置に向け、令和4年4月に石垣市狩猟者研修センター建設推進協議会を立ち